

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 5月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年 5月1日発行 通巻289号

新緑の季節!!

ゆったり山行を

楽しもう!!

5月号目次

・ 目 次	2
・ 3月理事会報告	3
・ 4月理事会報告	5
・ 初級登山講習会案内	6
・ 雪上技術講習実施報告	7
・ ハイキング委員会報告	8
・ 「ちば労山ゆう」通常総会報告	9
・ カザフフタン。ハイキング案内	10
・ 県連便り	11
・ 5月・6月 予定表	12
・ 県連たより	13
・ 5月・6月予定表	14

表 紙 説 明

「足尾の山に100万本の木を植えよう!」

第22回春の植樹デーが、4月22日(土)・23日(日)・銅親水公園で開催された。

毎年、2000人を超える参加者があり、地元の栃木県連は救助隊として参加し、気分の悪くなった人や足のついた人などの救助活動を実施している。埼玉県連は、毎年大勢がバスでの参加、東京都連からの参加もある。千葉県連からは、ここ数年参加者が少なくさびしい思いをしている。

自然保護運動の原点でもある、足尾鉍毒闘争、足尾の山に緑を の運動に多くの会員の参加をお願いしたい。

植樹に参加すると同時に、東日本大震災の支援物資の販売を行っています。毎年行っているので「今年も会えたね」「去年買ったワカメ美味しかったよ」等の暖かい励ましの声を掛けてくれます。

「ゆう」の支援活動のパネルを見て、被災地の現状を心配しています。千葉県連以外にも、「ゆう」の支援活動を支えてくれる人、励ましてくれる人が大勢いる事を実感します。

簡単には辞められない と毎年思います。

— 広 木 —

2016年度3月理事会報告

副理事長 鶴田 秀雄

【実施日時・場所】 2017年3月16日（木） 西部公民館 集会室 19時～
【議事】

1. 各員会報告

①教育遭難対策委員会

- ・4月8日の雪上技術講習計画の概要報告
- ・今年に入ってから現在まで事故一報は受けていない。

②ハイキング委員会

- ・ウィークデイ山行 検討中

③その他委員会

特になし

2. 2016年度決算報告 2017年度予算案説明

①下記2件の質問有

- ・CACの解散で救助隊が手薄になり安全対策基金の問題が生じないか。
⇒安全対策基金の性格から特に問題はない
- ・講師料と安全対策基金の関係に関連し現状より講師料を増やすことができないか
⇒講師料に関するルールを一本化する必要があるのでその中で検討する。

②採決

- ・2016年度決算、2017年度予算案、ともに賛成多数で承認された。

3. 県連理事の担当委員会確認と、担当理事に関連した役員会からの提案。

①新理事を中心に担当委員会の確認を行った。

（この時点で担当委員会未定の理事さんが6人であった。

5月1日時点で2名を除き担当委員会が決定した。）

②理事を中核とした委員会活動について役員会から提案（別記参照）

③理事会議事録の作成を、各理事さんが交代で作成することを提案、了解を得た。

4月理事会から始める。4月担当はちば山の会。

4. その他

①全国評議会参加報告（菅井自然保護委員長）

- ・個人会員制度の廃止が可決され、順次事務処理を進めて行く事になった。
- ・現会員の希望にそった処遇を考慮して行く事が、入会した会員に対する礼儀かと思う。

②NPO ちば労山ゆう

3月4～5日の 石巻谷川浜植樹の集いの報告、盛会であった。

2017年度活動計画は未定、4月13日の通常総会で決定する。

2017年度3月理事会における、役員会からの提案 について

千葉県連が会員の要求・期待に応えて行くためには、県連の現状を正しく理解し各会の総力を結集する事が最重要であります。

長期にわたる県連役員の欠員、中でも理事長・事務局長不在は深刻、一部委員会の活動休止状態、ちばニュース・県連ホームページの運営体制の確立、に取り組む必要があります。3月7日の県連役員会において、県連の現状を克服するために役員と理事会先頭になって取り組む事を理事会に提案する事になりました。

◆ まず理事会が動こう

1、理事を中核とした委員会組織の確立

- ① 組織委員会と機関誌委員会は、新年度確認した担当理事が協議して組織委員長と機関誌委員長を決める。

2、委員会活動計画の作成

- ① 組織委員会と機関誌委員会は、各委員長を中心に来期の活動計画を作成する。
各委員会が、目指す方向と活動内容は自由に考えていただく。
- ② 役員会で議論された事項を、参考として以下に紹介します。

【組織委員会について】

- ・大人数の会と少人数の会とが協力できる組織と委員選出のあり方。
- ・会員拡大への取り組みと情報交換。
- ・県連各会の横のつながりを深くする新しい活動の推進。

【機関誌委員会】

- ・県連機関誌「ちばニュース」の本来の発行体制の確立。
- ・県連・各会の広報活動全般にわたる活動の実行。



委員長と次期活動計画は、4月理事会で提案する

3、理事会議事録の作成を各理事の輪番制で行う。(4月から実施)

4月・ちば山の会 ⇒ 5月・君津ケルン山の会 ⇒ 6月・茂原道標山の会 ⇒
7月・船橋勤労者山の会 ⇒ 8月・理事会は休み ⇒ 9月・松戸山の会 ⇒
10月・東葛山の会 ⇒ 11月・千葉こまくさハイキングクラブ ⇒ 12月・
山の会らんたん ⇒
2018年1月・千葉民医連山を歩こう会 ⇒ 2月・山の会「岳樺クラブ」 ⇒
3月・かがりび山の会 ⇒ 4月・岳人あびこ ⇒ 5月・ふわくハイキングサークル ⇒
6月・市川山の会 ⇒ 7月・松戸山翠会 ⇒ 8月・理事会はお休み ⇒
9月・シリウス☆山の会 ⇒ 10月・まつど遠足クラブ1年さくら組 ⇒
11月・あじさい山の会

◆ 理事会欠席時は、次月当番会との相互交代をお願いします。

◆ 議事録は、副理事長・機関紙担当に送付をお願いします。

(これは、活動の分担と理事の活動への参加の一つです。ご協力をお願いします)

千葉県連 4月理事会報告

2017年度、第1回千葉県連理事会を実施しましたので報告します。

新年度を迎え各会選出理事の交代があり、新しく7名の理事が参加しました。昨年度、各会にお願いをした県連理事の複数選出については、ちば山の会・船橋勤労者山の会から2名の選出があり、総数20名の理事会となりました。

1、委員会報告

① 教育遭対委員会

- ・事故一報：丹沢・3月25日15時40・下山中の転倒し右足首骨折・自力下山。
- ・雪上講習会報告：4月8日・マチガワ沢にて実施・8会52名参加。
- ・初級登山講習会案内：6月8日・鹿沼岩山・参加締め切り5月21日（日）。

② ハイキング委員会

- ・ハイキング委員会：5月16日 県連事務所にて実施予定。
- ・ウィークデー山行：今秋 玉原高原で実施：詳細は後日案内。
- ・ロングハイク：2018年1月27日・28日 七里川温泉予約済

③ 自然保護委員会

- ・クリーンハイク：登山道などにゴミは無くなっている。会独自で実施の方向性。

④ 担当理事が、委員会ごとに分かれて年間活動について話し合いを実施した。

2、NPO法人「ちば労山ゆう」通常総会報告。（会長報告）

① 第5期をむかえ、活動方針の大きな転換があった。

- ・支援活動は、定期的に実施しない、必要に応じて実施して行く。
- ・会員の新規募集はしない、現会員については登録するが会費は徴収しない。
- ・支援活動参加者の減少と固定化、現理事の負担の大きさが問題となっている。一つの区切りとして新しい支援活動を模索して行きたい。

② 千葉県連の支援活動について

- ・県連として、各会に「ゆう」の活動参加をお願いして来た。今回の方針転換に際し、納得の出来る説明が出来なかったことをお詫びすると同時に、大きな責任を感じている。
- ・「ゆう」は、県連とは別組織だが、県連を母体とする組織である。「ゆう」の方針転換をうけて、今後どの様な支援活動を実施して行くか話し合いを進めて行きたい。
- ・次年度の「ゆう」総会で、支援金の残高等を考慮して新たな支援活動や方針が示される可能性もある。各会としても今後の支援活動について話し合ってほしい。
- ・各会には、東北の山への山行と合わせて、被災地の復興視察や海産物購入支援などを計画していただきたい。会行事として取り組みには補助金の交付もあります。

3、その他

① 創立50周年記念文集：現在最終段階に入っている。

- ・各会紹介については、ほぼ集まっている。
- ・過去に実施した、委員会行事・講演と映画の夕べ・ふれあいハイク・郡界尾根ハイク等をまとめているが、年数もありかなり大変な作業になっている。

※ 5月理事会は、5月18日（木）です。

理事会に対する、要求や意見をお待ちしています。（ホームページ・事務局への問合せまで

2017 初級登山講習の案内

県連教育遭難対策委員会

近年の県連発生事故では、高齢者の転倒等が継続発生している現状に加え、各会で初心・初級登山者が増加している事を勘案し、事故防止の取り組みとセルフレスキュー（応急処置等）の基礎講習が必要と判断しています。

2014年以降継続実施してきましたが、主に単独での取り組みが難しい会等を念頭に、前年度に引き続き本年度も初心者・初級者（入会后1～2年程度）を対象とした実技講習を実施します。

尚、参加の利便性を考慮して、単日で行います。

各会よりの積極的な参加をお願いします。

記

- 1) 日程：6／10（土）
- 2) 場所：栃木県鹿沼市・岩山
- 3) 集合：鹿沼岩山登山口 9：30
- 4) 交通：東武日光線新鹿沼駅下車 8：49 徒歩で集合場所へ移動。
＜注＞現地（岩山入口の日吉神社）に駐車スペース無し。
- 5) 実技：9：30－16：00
 - ①ストレッチ（ウォームアップ）
 - ②地形図とコンパスの使用法
 - ③支点作りと自己ビレー（確保）：県連救助隊推奨7点セットを使用
 - ④岩場の登下降とトラバース（危険地帯の通過と危険回避）
 - ⑤事故時の応急処置と搬送法
 - ⑥クールダウン
- 6) 実施規模：30名程度
- 7) 個人装備：雨具 ストック 行動食 県連7点セット＊
＊＜スリング長1 短2 補助ロープ10m カラビナ2 環付カラビナ1＞
シルバコンパス
- 8) 共同装備：各会毎 テーピングテープ 三角巾
- 9) 参加費：500円／人
- 10) 申し込み期日：各会理事より5月21日（日）までに
教育遭対委員会 伊東まで <itou2385@yahoo.co.jp>
申込書は別途送とします。
- 11) 各会責任者打ち合わせ：6月1日（木）19：00～県連事務所にて
- 12) 雨天決行：但し、大雨等の場合は中止。
- 13) トイレ事情：現地に適所無し。駅前で出発前に済ませ、携帯トイレは各自で。
- 14) その他問合せ先：遭対委員会 岡田 ken-ichi@f4.dion.ne.jp 043-271-4704

マチガ沢雪上技術講習の報告

教育遭難対策委員会

4月8日、谷川岳／マチガ沢出合にて雪上技術講習を行いました。

昨年は雪が少なく中止となりました。本年は残雪が多く、また救助隊を中心にちば山の会・船橋勤労者山の会の他に講師をお願いして、実りある実技講習となりました。参加者は下記8会で計52名となり、4班に分けての講習となりました。内容は、雪上歩行訓練（つぼ足 アイゼン）・滑落停止訓練・ロープワーク（確保技術）等を実施して、13時に無事終了しました。

＊参加会：船橋勤労者山の会 かがりび山の会 ちば山の会 松戸山の会 君津ケルン山の会 千葉こまくさハイキングクラブ 山の会「岳樺クラブ」まつど遠足クラブ1年さくら組尚、JR土合駅の待合室は閉鎖されており使用不可。玄関口のテーブルも撤去され、仮眠での通路使用もやりづらい雰囲気。今後は 水上・道の駅又は土合山の家駐車場等の使用が適切と判断されます。



栃木県高体連主催の「春山講習会」に参加した高校生ら8人の死亡事故が発生した。この死亡事故は、

山を愛する者にとって大変に悲しい事であると同時に、多くの事を考え学ぶ事の重要性を改めて再認識させられた。

「過去10年間事故は無かった」「登山ではなく講習会」「絶対安全と判断した」なぜ、どうしてとの思いは強い。「雪崩に対する認識が甘い」ではすまされない。全国連盟・川島事務局長は、新聞・TVのインタビューに答えて「雪崩は斜面に雪があれば発生する可能性がある」「雪崩事故は多くはないが、遭えば重大事故になる」と訴えている。

今回の事故で、高校生の部活動が制限を受ける事が心配だ。山岳部のある高校は少なく、部活も厳しい制限がある。顧問の先生の熱心な指導と登山に対する情熱が生徒を支えているのが現状だ。若者の山や自然に対する想いを大事にしてほしいと思う。

2016 年度 第 6 回ハイキング委員会

2017 年 3 月 14 日 (火)

出席者 桑原、佐川、八巻、小山、高橋、中山、吉沢、中原、高見、羽鳥（東葛）、松宮（市川）
深草（岳人あびこ） 12 名

議題 33 回ロングハイキング決算報告

新旧委員交代 羽鳥健一郎（東葛）、松宮俊一（市川）、深草茂美（岳人あびこ）
よろしくお願いします。

1) 第 34 回 房総ロングハイキング

2018 年 1 月 27 日 (土)、28 日 (日) 開催決定
七里川温泉には予約しておきました。

1、東葛地区 前日の山行

- ① 鋸山（車力道一山頂一観月道）計画書作成の事
- ② 今後千葉 50 座を歩く。

2、28 日行動 ロングハイキング コース決定

- ① 予定道り麻綿原コースから向峰コース 6:00 出発～16:00 下山予定
時間の掛かる様でしたら変更あり。

2) ウィークデー山行

30 年春 実行する。花の次期

場所 1、玉原高原 水芭蕉の時期 6 月 計画書作成
2、入笠山 レンゲツツジ 6 月 計画書作成
上記全コース次回までに決定の事。

3) ちばニュース掲載引き続き行いう事にする。タイトル（山への想い）雑感

3 月寺崎、4 月中山、5 月八巻、6 月松宮、7 月羽鳥、8 月佐川、9 月中原、10 月深草、
11 月小山、12 月阿部、1 月桑原、2 月寺崎、

※ 前月の 20 日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。

その他

※次期役員選出の件、考えて置く必要あり。次回予告

※NPO法人「ちば労山ゆう」支援活動

2017 年 3 月 4 日 (土) ～5 日 (日) 一泊二日 牡鹿谷川浜、金華山
記念植樹 鎮魂碑建立バスツアー 56 名参加 終了
総会 2017 年 4 月 13 日 (木) 19:00 西部公民館 終了

次回委員会 2017 年 5 月 16 日 (火) 18:00～20:00

県連事務所

第 5 期 NPO 法人ちば労山ゆう通常総会報告

理事長 吉田哲治

ちば労山ゆうの第 5 回目の通常総会が 4 月 13 日、船橋市西部公民館において開催されましたので概要をご報告致します。

尚、議案は賛成多数で可決されましたが、17 年度方針案採決に際し反対が 3 名いました。会費徴収に関して、活動を継続する以上、いくらかでも徴収すべきとの意見がありました。

● 2016 年度の活動報告

1. 会員数

正会員 109 名 賛助会員 96 名

2. 現地災害支援

6 回(福島 5 回、牡鹿 1 回) 延べ人数 64 名 (福島 47 名、牡鹿 17 名)

これまで現地での支援活動は、ゆうの役員を中心とした一部のメンバーによって支えられてきた。その傾向は 16 年度はより顕著になり、ほんの一部のリピーターによって支援活動は成り立っている。新規に参加するメンバーは年々少なくなり、16 年度はわずかに 1 名のみだった。

3. 谷川浜・桜植樹の集い

3 月 4 日(土)～5 日 谷川浜・洞福寺 バス 2 台 60 名参加

震災で亡くなった御霊への鎮魂と私たちの足跡を谷川に残したいとの思いから、桜の植樹と石碑の建立を行った。これまでに支援活動に関わっていただいた方にも参加して欲しいと呼びかけたところ、多くの方の賛同を得て開催することができた。

また、植樹と石碑にかかる費用を「桜募金」として呼びかけたところ、269,000 円をいただいた。費用総額 409,046 円に対して不足額の 140,046 円はゆうより補填とした。

4. 事業活動

気仙沼・石巻とろろこんぶ・わかめ等幹旋販売

5. 財政補助

交通費の負担を一人当たり一律 2,000 円として個人負担の軽減を図った。

●2017 年度活動方針

ゆうの支援活動は一部の方々の参加により成り立っている。年々新規の参加者は減り、参加者の固定化が顕著になってきた。これは私たちの活動のみならず全国的な傾向である。震災当時に思いを馳せると、震災のあまりにも大きな被害の衝撃から息の長い支援活動をしていきたいと立ち上げた NPO ちば労山ゆうであるが、リピーターの負担があまりにも大きくなってきた。その役割を見直す時期がきているように思われる。

1. 現地支援活動

定期的な活動は行わない。

谷川に植えた桜のケアを中心として不定期な活動を行う。

2. 財政補助

交通費補助(2,000 円/人自己負担、それを超える分の補助)

3. 会員および会費

正会員賛助会員ともに、脱会を希望する会員を除いて 16 年度の登録を継続する。17 年度以降は、会費の徴収は行わない。

2017年カザフスタン・四大国立公園探勝と交流ハイキングの参加者募集

主催： 日本勤労者山岳連盟国際部

共催： カザフスタン山岳連盟

カザフスタン山岳連盟から、カザフスタン・四大国立公園探勝と交流ハイキングの提案が来ました。全国連盟理事会で討議し、今回の提案を受けて実施する事にしました。

つきましては、下記の通り参加者募集を行います。ご検討をいただき、ぜひ参加をお願いします。

記

日程： 2017年8月25日(金)日本各地空港発～9月2日(土)日本各地空港着

人数： 10～15人程度

参加資格： 労山会員で、毎日3～6時間程度の山歩きができる体力を保持している人

概算費用： 総額26～27万円程度

(1) 航空券代：(日本各空港～仁川経由～アルマトイ、往復) 約10万円

(2) カザフスタン国内旅行費用 約17万円 (但し110円/\$で計算)

カザフスタン Kan Tengri Expedition 社へ支払う。旅費に含まれるのは、以下の通り。

- ・全交通費 (A/C バス、4WD 車移動、その他すべてを含む)
- ・宿泊費 (アルマトイ四つ星ホテル泊：ツインを基本1泊+8日目昼利用1回。ユルトキャンプ1泊：パオテント、グループ全員が大部屋で就寝。トレッキングテント2泊：寝袋等は用意される。シャワー付き山小屋泊、1泊。シャワー付きゲストハウス、2泊)
- ・ガイド、通訳：全行程・全食事 (ハイキングの場合は、弁当もあり)・入園料

参加申込、連絡、相談先

- ・日本勤労者山岳連盟 国際部長 花村哲也 (Email: thana@apricot.ocn.ne.jp)
- ・基本連絡は、Email とします。(FAX は、労山事務所：03-3235-4324 へ)
- ・参加希望者は、(氏名、住所、連絡電話番号、メールアドレス、パスポート英文表記氏名、パスポート番号、パスポート期限日、労山会員番号) をご連絡ください。

問合せ・詳細資料については、千葉県連・広木 国昭が対応します。連絡をお願いします (danphiro@zpost.plala.or.jp)

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

◎ 県連盟事務所

〒262-0033

千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101 号室

TEL・FAX： 043-306-1190

Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp

JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
(県連事務所に常駐者はいません)

◎ 加盟会会員の事故一報送付先

教遭委員長・岡田 賢一

ken-ichi@f4.dion.ne.jp

Fax：043-271-4704

全国連盟事務局にも必ず送付の事。

◎ 連盟費振込み先

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

◎ 「ちばニュース」原稿送付先

発行責任者：広木 国昭



NPO法人「ちば労山ゆう」

「ちば労山ゆう」は、東日本大震災の支援を目的に、千葉県勤労者山岳連盟を母体としたNPO法人です。

◎「ちば労山ゆう」への問い合わせは千葉県連盟ホームページから

「ちば労山ゆう」にお願いします

◎「食べて復興支援」を合言葉に被災地・気仙沼直送の海産物の販売に取り組んでいます。

- ・「おさしみわかめ」
- ・「さしみこんぶ」
- ・「くきわかめ」
- ・「すき昆布」
- ・「とろろこんぶ」

常時用意してあります。

下記に連絡をお願いします。

広木 国昭 Eメールアドレス

danphiro@zpost.plala.or.jp

【編集後記】

- ・理事会報告が、3月と4月の2月分となっていました。これでは「会員と千葉県連をつなぐ」ちばニュースではありません。4月からは、理事会議事録を各理事が交代で担当する事になり、キッチリと報告出来ると思います。
- ・高校生の雪崩事故について掲載したかったのですが、事故報告は事実をしっかり把握しなければ出来ません。今後の動向をみて掲載したいと思います。
- ・今月号は投稿が無くページ数少なくなりました。会の山行・行事・会自慢・耳よりの話等県連の仲間に紹介して下さい。
締め切りなどはありません。気が向いた時に送ってください。
- ・ちばニュースの内容、発行システム等の改善を検討しています。ご意見・要望をお寄せください。
- ・ちばニュースが、どれだけの会員に届いているのか気になっています。
印刷して配布、メール添付で配信、会のホームページ掲載等、各会の現状に合わせた方法で届けていると思います。しかし、会によっては会員に全く届いてない、届けられない現状が報告されています。
ちばニュースを「全会員に届け、読んでもらう」ための意見をお願いします。

—— 編集者 ——

県 連 活 動 予 定 表

5月		行事予定	6月		行事予定
1	月		1	木	
2	火		2	金	
3	水		3	土	
4	木		4	日	
5	金		5	月	
6	土		6	火	県連役員会
7	日		7	水	
8	月		8	木	
9	火	県連役員会	9	金	
10	水		10	土	初級者講習会
11	木		11	日	
12	金		12	月	
13	土		13	火	
14	日		14	水	
15	月		15	木	県連理事会
16	火		16	金	
17	水		17	土	
18	木	理事会	18	日	
19	金		19	月	
20	土		20	火	
21	日		21	水	
22	月	教遭委員会	22	木	
23	火		23	金	
24	水		24	土	
25	木		25	日	
26	金		26	月	
27	土		27	火	
28	日		28	水	
29	月		29	木	
30	火		30	金	
31	水				

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（常駐者はいません）

発行責任者：広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)

問い合わせは：千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで